

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 29 年度 第 4 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 30 年 1 月 12 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：兼子、浅野、棚村、帖佐、佐藤、清水、柴、高木

欠席者：高崎、乙訓

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡

日臨技からの送付資料について。

平成 29 年 11 月締め分の入会金・会費の送金はありませんでした。（高木部長）

平成 29 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について。

岐臨技第 4 回臨床血液部門研修会 11 月 13 日（38,500 円）、岐臨技臨床生理部門神経生理分野研修会 11 月 11 日（31,500 円）、平成 29 年度秋季拡大研修会 11 月 12 日（48,500 円）、輸血実技研修会 11 月 25 日（29,000 円）、生物化学分析部門研修会 11 月 26 日（34,000 円）、岐臨技臨床生理部門研修会（超音波分野）12 月 9 日（35,000 円）、平成 29 年 12 月 27 日送金合計額 216,500 円であった。（高木部長）

日臨技より平成 30 年度都道府県技師会との関連事業計画についての連絡があった。

平成 30 年 3 月 24 日の日臨技理事会で以下の承認をいただく日程で進めています。

1. 都道府県主催事業

1. 生涯教育推進研修会助成、参加者 1 人あたり 500 円、最高 60 名まで（最大 5 万円）を上限としお支払する。これは例年と同じであります。

2. 都道府県主催「都道府県技師会ニューリーダー育成講習会」の開催支援。岐臨技では今年の 3 月 5 日に中堅クラス（40 代）の会員を対象に実施します。

2. 日臨技・都道府県技師会共同事業

1. 全国「検査と健康展」開催経費一律 50 万円。岐臨技でも組織調査部長と相談し検討したい。

2. 日臨技精度管理結果サポート事業助成、定額 4 万円及び日臨技会員である参加者 1 人あたり 500 円、最高 60 名迄最大 7 万円をお支払する。岐臨技ではまず日臨技よりデータを受け取り、内容を確認してから検討したい。

3. 地域ニューリーダー実践講習会の開催、平成 30 年度は過去 4 回の講習会よりステップアップした企画とします。各県 4 名の受講講習者から受講者 1 名を推薦していただく予定である。参加者の宿泊費は都道府県技師会負担、交通費は日臨技負担

とします。岐臨技では、無理せず行けそうであれば行って頂くことにします。

4. 職能向上のための臨床検査技師育成講習会の開催、平成 29 年度 12 月 8 日～10 日中央開催した医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会をもとに平成 30 年度から 3 年継続事業として各都道府県で開催をお願いします。開催にあたり定額 20 万円+参加者 1 名あたり 1,000 円の経費を日臨技が負担します。総合部門で協力いただくこととなりますが岐臨技もサポートします。

5. 初級職能開発講習会の開催依頼、卒後 3 年から 5 年の会員を対象に医療人・職能人としてのスキルアップを目的に全国展開します。開催経費は日臨技負担とします。今年 4 月 22 日に入会 3 から 5 年目の方を対象に開催します。

6. 総会委任状回収委託。50%以上の回収率で補助が出ます。

3. 部学会担当都道府県技師会（支部学会関連の開催依頼）については

1. 養成校学生フォーラム 2. 中高生進路支援ガイダンスの継続実施依頼があった。
(兼子会長)

日臨技より検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講率促進のお願い

平成 27 年度より開始され受講率は本会会員の半数に留まっております。5 年間は全国での開催を計画しておりますが今後開催場所を経時的に縮小致します。引き続き会員の皆様の早期受講をお願いします。岐阜県は終了率 77.5%で全国 1 位となっている。(高木部長)

9 月 8 日と 9 日は岐阜県が担当地区として開催されます。実務委員としてご協力いただければ受講扱いとなります。(兼子会長)

日臨技より e ラーニング「バリュー・レゾリューション」広報ビデオ配布依頼

日臨技 e ラーニングの広報ビデオ（15 分版）を作成しました。USB メモリーを配布しますので会員の皆様の周知をお願いします。(高木部長)

高木理事より第 56 回岐阜県医学検査学会について進捗報告

開催日は平成 30 年 3 月 25 日（日曜日）午前 9：00 受付 午前 9：30 より開催。

会場は OKB ふれあい会館 3 階大会議室（302）。

学会長は岐阜大学医学部附属病院 野久 謙技師長。実行委員長は林 博之理事。

事務局は高木 康雄理事、実務委員は後藤 浩理事、早川 恭江理事、内藤 斉会員、武藤 次郎会員、森 晴雄会員である。

演題数は 14 題（生理部門 10 演題・輸血免疫部門 1 演題・病理細胞部門 1 演題・微生物部門 2 演題）。

ランチョンは 2 社で、富士レビオ：「夜間・緊急検査時での免疫検査のピットフォール」講師 福田 雅之助氏。ロシュ：「内分泌検査の重要性」講師は山田 洋一氏。

広告協賛は 8 社。

教育講演は清島 満先生（岐阜大学大学院医学研究科病態情報解析医学教授）「共用基準範囲導入のすすめ～ガイドラインにおける脂質管理目標値との混同～」。

市民公開講座は奥田昌子先生「日本人のための健康法とは」市民を対象に本をプレゼント：奥田昌子著「欧米人とはこんなに違った日本人の体質」5冊。

平成 30 年 2 月頃に咲楽・広報 Gifu・GIFUTO にイベント掲載。県学会参加案内・参加申込書は 2 月 20 日頃に各施設に発送予定
学会プログラムは以下の通りである。

9：00 ～	受付開始
9：30 ～ 9：40	第 56 回岐阜県医学検査学会開催 第 56 回岐阜県医学検査学会学会長挨拶：野久讓学会長 岐阜県臨床検査技師会会長挨拶：岐阜県臨床検査技師会会長
9：40 ～10：40	一般演題 6 例
10：50 ～11：50	教育講演：清島 満先生
12：00 ～13：00	ランチョンセミナー 2 社
13：00 ～	市民公開講座 受付・入場開始
13：20 ～14：20	市民公開講座：奥田 昌子先生
14：30 ～15：50	一般演題 8 例
15：30	閉会の辞：実行委員長

当日はこのように進行します。（高木部長）

西濃地区

浅野副会長より平成 30 年度春季拡大研修会の会場についての報告がありました。昨年は大垣市情報工房で開催されましたが次年度開催の 6 月 10 日は大垣市情報工房・大垣市民会館・スイトピア等について総て予約が取れませんでした。ソフトピアジャパン（先進情報産業団地）で何とか予約が取れましたが駐車場が有料ですのもう少し検討させていただきます。

地区総会は 2 月 14 日に開催します。（浅野副会長）

中濃地区

佐藤部長より 1 月 24 日に地区総会を開催するとの報告があり、時期理事候補の承認を取りたいとの報告があった。

東農地区

柴理事より 3 月 24 日に地区総会を開催するとの報告があった。

学術部 帖佐部長

部門長変更予定者の報告がありました。

微生物部門は八島繁子会員から後藤雪乃会員（岐阜総合医療センター）へ、臨床生理部門は石郷景子会員から今吉由美会員（大垣市民病院）へ、臨床検査総合部門は森さゆり会員から武藤次郎会員（岐阜赤十字病院）へ、血液部門は渡邊宜典会員から山本将毅会員（土岐市立総合病院）へと変更することになりました。

部門員の構成については理事会で報告いたします。

岐阜県技師会誌への論文投稿者は生理部門より瀬慶子会員（羽島市民病院）、微生物部門より関谷怜子会員（岐阜県立多治見病院）生理部門より森晴雄会員（岐阜総合医療センター）、生理部門より石郷 景子会員（現在提出予定）（大垣市民病院）より論文投稿がありました。

精度管理事業部 佐藤部長より

精度管理総括集は H29 年 12 月 22 日に発送しました。（最終評価表、参加証も同封）、今年度は、経費節減のためモノクロ印刷としました。

精度管理総括集 259,200 円（昨年は 359,640 円）100,440 円削減しました、病理、細胞診、超音波などのカラー画像データは、岐臨技ホームページから参照としました。

宮島 喜文日臨技会長の羽島駅まで送迎（田中、山本）交通費申請済しました。助成金 5 万円は申請中である。

第 3 回精度管理事業部会議を平成 30 年 1 月 28 日（日曜日）10：00～（報告会前）に実施します。会場は東海中央病院 3 F 会議室。議題は今年度の反省と問題点、次年度についての計画案、役員については事務員の玉置佳澄会員と情報部の近藤眞一会員の代わりを探していきたい。部長も候補者があれば検討していきたい。（佐藤部長）

精度管理事業部報告会についての説明があった。

開催日は平成 30 年 1 月 28 日（日）、会場は東海中央病院 3 階大会議室である。

当日のスケジュールは 13：00 より開会のあいさつ（岐臨技会長 兼子徹）

13：05 より精度管理総括（佐藤恵彦部長）13：20 より標準化総括（平光幹彦会員）13：35 より臨床化学検査Ⅰ（渡邊景介会員）13：55 より臨床化学検査Ⅱ（大森由佳里会員）14：05 より免疫血清検査（武藤延秋会員）14：15 より血液検査（渡邊宜典会員）14：25 より一般検査（加藤雅子会員）14：35 より休憩、14：45 より病理検査（片桐恭雄会員）14：55 より細胞検査（酒井美穂会員）15：05 より生理検査（中島直美会員）15：15 より微生物検査（長島敏之会員）15：25 より輸血検査（八木良仁会員）。

15：35 より特別企画「医療法の一部を改正する法律」について、日臨技会長 宮島喜文先生、座長は佐藤恵彦部長、16：35 閉会のあいさつ岐臨技副会長棚村一彦理事、16：

40 終了で進めさせていただきます。(佐藤部長)

渉外部

柴部長より2月に岐阜で懇親会があるとの報告がありました。1月20日に各施設に案内を発送しますので是非参加してください。(柴部長)

平成30年度事業計画について各部長より報告があった。

兼子会長より平成30年度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会事業計画についての報告があった。新しく行う事業としては、人材育成部会事業を新設します。平成30年度は「初級職能開発講習会」と「認知症対応力向上講習会」と「ニューリーダー育成講習会」を開催します。

継続して行う事業については平成29年度に行われた事業を平成30年度も実施する予定である。ただし、事業によっては細かな内容や実施回数などが異なる場合があります。廃止もしくは休止となる事業はありません。

帖佐部長より平成30年度学術部事業計画についての報告があった。

第67回日本医学検査学会が浜松で開催(5月12日～13日)、第57回岐阜県医学検査学会(飛騨地区) 期日未定、春季拡大研修会(西濃地区)、秋季拡大研修会(中濃地区)。

各部門別研修会については、臨床化学免疫血清検査・研究班研修会(3回)、生理検査研究班研修会(5回)、一般検査研究班研修会(3回)、血液検査研究班研修会(5回)、病理検査研究班・細胞検査研究班合同研修会(5回)、微生物・公衆衛生・研究班(5回)、輸血検査研究班研修会(6回)開催を予定。

新人サポート研修会は5月開催(岐阜医療科学大学) 予定である。

岐臨技検査説明相談ができる育成講習会から医療現場における職能向上のための臨床検査育成講習会に変更します。

佐藤部長より精度管事業部平成30年度事業計画について報告があった。

次年度に向けた検討項目は1. 臨床化学の2次サーベイ実施と是正報告書の確認と指導を行う。HbA1c高値資料を確保する。2. 生理検査は呼吸機能検査の出題内容について難易度を検討する。3. 免疫検査の2次サーベイ実施と是正報告書の確認と指導を行う。4. 血液の自家製試薬の調整方法について検討する。5. 輸血検査は血液センターより資料の購入依頼をする。6. 参加申し込みの連絡方法について再検討する。(佐藤部長)

年間行事計画は、1. JAMTQC 使用申請(1月)、2. JAMTQC マスター登録、項目・資料の名称決定(4月中)、3. 精度管理調査案内文配布(5月20日)、4. 受付期間(6月1日から15日)、5. 設問締め切り(8月16日)、6. 第1回設問確認会議(8月17日)、7. 岐阜市民病院より資料発送(8月26日)、8. 施設認証案内(9月中)、9. 回答締め切り(9月11日)、

10. 集計作業締め切り（一次評価終了）（9月25日）、11. 一次報告書発送（C・D評価施設のみ）（10月5日）、12. 二次サーベイを受けるか意思表示確認（10月12日）、13. 二次サーベイ資料発送（10月16日）、14. 是正協力作業（C・D評価サポート、3SD抽出）（10月中）、15. 是正報告書提出（10月中）、16. 再入力期間（10月22-23日）、17. 第2回会議（最終評価）（10月26日）、18. 総括集原稿締め切り（11月27日）、19. 総括集校正作業（12月中）、20. 総括集納品（12月下旬）、21. 最終評価・総括集・参加証の発送（12月下旬）、22. 報告スライド締め切り（平成31年1月18日）、23. 報告会資料公開（平成31年1月20日）、24. 報告会・第3回会議（次年度計画）（平成31年1月27日）

平成30年度組織調査部の事業計画について内容を確認した。

組織調査部の事業計画は 1. 啓発及び保健衛生事業(1)日臨技の公益事業「検査と健康展」開催。開催月間として11月頃に開催、本年度より各地区へ移行。(2)市民健康まつり①平成29年度高山市民健康まつり、②平成29年度大垣市市民の健康ひろば、③平成29年度ぎふ市民健康まつりを開催。(3)HIV・STI 予防に関する事業として①大学祭での予防啓発活動（関連グッズ及び説明）、日時は11月、場所は岐阜経済大学を予定。②MSMを対象とした無料 HIV 検査会への参加（県保健医療課からの依頼）、日時は11月、場所はハートフルスクエア G。

2. 各表彰該当者の選出は (1)岐阜県臨床検査技師会表彰規定に則った功労者表彰及び永年勤続者の選出。(2)その他表彰対象者の選出（岐阜県、各種団体等による表彰）。

3. 人材育成部会事業は、(1)岐阜県初級職能開発講習会、日時は2018年4月22日、場所は岐阜大学医学部会議室。(2)岐阜県認知症検査対応力向上講習会、日時は2018年7月29日、場所は澤田病院会議室である。

平成30年度広報宣伝部事業計画について内容を確認した。

1. 岐臨技会報の発行は（年6回以上）、内容は56号（6月）春季拡大研修会報告など、57号（8月）会長挨拶、理事紹介など、58号（10月）全国学会報告、59号（12月）秋季拡大研修会、検査と健康展、各イベント報告、60号（1月）会長挨拶など、61号（3月）県学会報告などを掲載する予定。施設紹介、各部門からの研修会報告、御寄稿などは随時掲載の予定である。58回中部圏支部医学検査学会（H31.10, 岐阜）の準備進捗状況を随時報告する。会報作成スケジュール等は以下の通りで行う。投稿願いは発行月の前月1日より依頼、原稿締め切りは発行月の前月末日、内容確認と校正は発行月の理事会日に行う、発送は発行月20日とする。

2. ホームページの維持管理は（株）ディクナレッジテクノソリューション（担当：島田様）を通じて各種情報を掲載していく。

3. ホームページ バナー広告協力メーカーの契約管理と新規獲得。10月～次年度10月まで、36,000円/社、現在4社（積水メディカル（株）、栄研化学（株）、シーメンスヘル

スケア、アークレイマーケティング（株）と契約している。

柴部長より平成 30 年度渉外部事業計画について報告があった。

平成 30 年度定時総会において、平成 29 年度決算が承認されたのち、速やかに公益目的支出計画実施報告書を電子申請にて行い、県医療整備課と連絡をとりながら、修正していく。

平成 28 年度、公益目的支出は予定通り。終了予定年度は平成 36 年 3 月 31 日。当該事業年度末日の公益目的財産残高は 9,648,376 円（平成 29 年 7 月通知）一般社団法人移行時における公益目的財産額は 13,367,094 円、公益目的支出計画実施期間は 13 年間。平成 26 年度の公益目的支出額が増えて、当初の予定より 3 年短縮された。

岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会大腸がん部門、岐阜県医療勤務環境改善支援センター運営協議会への参加。年数回実施の懇親会準備（柴部長）

高木部長より庶務部の平成 30 年度事業計画について報告があった。

庶務部は事務員との協力により業務を行っています。業務内容は、研修会・連絡事項等の発送（毎月 20 日）。理事会・常務理事会の開催案内送付。（メールにて）、事務所使用管理、日臨技・各種団体・会員よりの問い合わせ等の対応。各種の書類管理。議事録作成。会費管理に関する事項の対応。定時総会出席者の日臨技生涯教育研修制度への登録。定時総会の取り仕切り。総会関連の議決権行使書の作成。マンション管理組合総会・マンション管理組合理事会への出席である。（高木部長）

兼子会長より平成 30 年度会計部事業計画について報告があった。

平成 29 年度中間決算について報告があった。収支計算書は、予算額と中間決算額の比較を表しています。ただし、中間決算額は 4 月 1 日から 9 月 30 日の 6 か月の実績ですが、予算額は 1 年度分です。したがって、中間決算額が予算額の半分程度であれば予算通りともいえますが、一部の科目は収益・費用が上期か下期に集中しています。また、経常収益の入会金・会費収入の「正会員会費収入」の中間決算額は、実際に入金のあった額の半分を計上し、残りの半分は前受金として下期の収益としています。

予算との差額の大きい科目は、事業費「消耗品費」の「試料代」で、試料の購入先を変更し購入代金が増加したことによるものです。

正味財産増減計算書は、当年度と前年度の中間決算額の比較です。

前年度と差額の大きい科目は、「精度管理参加費収入」の増加は、試料購入先変更を見越し、参加費の値上げを行ったことによるものです。「研修会等参加費収入」の減少は、前年度実施した「検査説明・相談講習会」が終了し今年度は実施しなかったことによるものです。「広告料収入」の増加は「新人サポート研修会」のテキスト広告料をいただいたことによるものです。「学会研修会助成金」の減少は「研修会等参加費収入」と同様に

「検査説明・相談講習会」終了によるものです。「消耗品費」の減少は、前年度「印刷費」の一部が「消耗品費」となっていたことによるものです。「試料代」の増加は、収支計算書と同じ理由によるものです。「講師等謝礼金」の減少は、「検査説明・相談講習会」が終了したことと、部門別の研修会でも外部講師招聘が少なかったことによるものです。

貸借対照表・財産目録は、資産の部の「未収金」は精度管理参加費のうち、上期中に支払われなかったものです。負債の部の「前受金」は、正会員会費の半分を下期分としたものと、下期開催の検査と健康展の助成金が入金があったものです。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 浅野 敦 

議事録署名人 _____ 印